

紙つづて

一年前にヴェネツィアからヴェローナ行き列車に乗ったときの話。地中海ブルーのシートに、シート上部の持ち手のレモンイエローが映える。車両の電光表示板が行き先と停車駅を知らせている。

最初は気にも留めていなかったが、「ボローニャ中央駅」と繰り返し表示されている。自分が行きたい方角とは違う。訂正されるだろうと思っつちに、発車時刻が近づいてきた。さすがに不安になって、ちょうど後ろの座席にいたイタリア人の若者に尋ねてみようと振り返った瞬間、「これ間違ってます」。

いきなりの日本語に唖然とした。互いに笑いながら、旅は道連れと同

「これ間違ってます」

好 武田

席することになった。なんでもヴェネツィア大学で日本語を学んだそう。日本に一年間の留学経験があるという。卒業論文のテーマは「日本の少子高齢化問題」。きちんとした丁寧な日本語を話す。

どうしても思い出せなくて、日本人に教えてもらおうと思っていた日本語があるらしい。花をヒントに二人で考え、よつやくたどりついた言葉は、なんと「カイカ」。桜の開花宣言の「かいか」である。日本の春が大好きな彼は、この言葉を探していた。桜前線が日本列島を縦断していくことに心打たれたのだという。

ヴェローナ方面とボローニャ方面の分岐点のパドヴァで彼は列車を降りて行った。ヴェローナ駅に着いても表示は「ボローニャ中央駅」のままだった。(静岡文化芸術大教授)

2020.2.29

2020.2.29

中日新聞(夕刊) P.1